

(別添7)

事業所名 グループホーム こもれびの里

2 目標達成計画

作成日: 平成30年 4月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	開設して1年で、職員はグループホームの経験が浅く、日々の業務の中で、身体拘束をしないケアや禁止されている行為について、詳しく理解できていない。	①管理者・職員と身体拘束をしないケアについて、正しく理解することができる。 ②日々の業務の中で、身体拘束をしないケアの実践をすることができる。	①身体拘束に関する指針を作成する。②委員会の設置をし、定期的を開催する。③止むを得ず身体拘束を行う場合は、決められた手順に従って実施する。短い期間で、見直しをし身体拘束に代わる手段を検討する。④定期的に身体拘束廃止・改善のための職員教育と研修を行う。	12ヶ月
2	49	・ご利用者様それぞれの希望に沿った細かい外出支援ができていない。ご家族や地域の方と協力して、本人の思いに沿った外出支援ができていない。	①ご利用者様の生活歴や思い・ご家族様の要望を確認し、職員全体で共有する。②スタッフやご家族と協力してご利用者様の外出の機会をつくり実行する。	①ケアマネや職員が、ご本人やご家族に楽しみや外出の希望等を確認する。②ケアプランや本人の情報を、職員全体で共有する。③季節や地域行事・本人の要望を確認して、ご家族の協力の元で外出の支援をする。可能であれば、外泊の機会を設ける。④定期的な家族会を開催し、ご利用者様とご家族様の関係を支援する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。